



# 市長に寄せられた 市民の声

## まちづくりに生かす市民の声

市では、皆さんのご意見やご要望である「市民の声」をお聴きし、まちづくりへ反映するように努めています。

**問い合わせ** 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4110）

### 市長への手紙

昨年度に寄せられた意見と回答の一部をお知らせします。なお、内容は、意見が寄せられた時点のものです。

#### 声①

洪水時の避難所が見直され、浸水想定地域にある小学校の2・3階を指定されました。浸水想定地域への避難は理解できません。

#### 回答①

国は昨今の津波や洪水による被害の発生などを踏まえ、洪水時に浸水が想定される地域にある避難所であっても、2階、3階などの上層階に避難することで安全を確保する「垂直避難」の考え方を導入しました。

これを受けて、帯広市でも避難所の見直しを行い、浸水が想定される地域であっても、近い避難所に避難できるようにしました。また、従前は地震時と洪水時で別々の避難所を指定していた地域においても、災害の種類によらず、同じ避難所に避難できるようにしました。

なお、引き続き従前の避難所も利用いただけることとしているの

### 「市民の声」の受理方法別件数と項目数

受理方法	件数	項目数	比率
市長への手紙	239通	585	50.1%
陳情・要望	51件	412	35.3%
市長との懇談会 (地区懇談会・市民トーク・ ティーミーティング・ 市長がおじゃまします)	14回	97	8.3%
その他 (電話・Eメールなど)	54件	73	6.3%
合計		1167	100%

### 担当部門別「市民の声」

担当部門	項目数	比率	担当部門	項目数	比率
政策推進	101	8.7%	農政	44	3.8%
総務	118	10.1%	都市建設	290	24.9%
市民活動	76	6.5%	教育	117	10.0%
市民環境	68	5.8%	消防	22	1.9%
保健福祉	147	12.6%	上下水道	11	0.9%
子ども未来	38	3.3%	その他	11	0.9%
商工観光	124	10.6%	合計	1167	100%

46、☎48・2322）  
（担当 道路維持課、南町南6線

3階、☎65・4131）  
（担当 安心安全推進課、市庁舎

#### 声②

道路のひび割れや穴の補修に基準はあるのですか。

#### 回答②

道路補修の基準はありませんが、雪解けが始まる3月から5月中旬まで、路面点検を強化しています。走行に影響のある損傷箇所は、応急処置として、土のうや砂利の埋め戻しなどによる仮復旧を行い、凍上が落ち着いた後に舗装の復旧を行っています。

#### 声③

自転車は軽車両、左側通行であることぐらいは周知すべきです。

#### 回答③

帯広市は、主に小学校を中心に実施している交通教室で、自転車があることなど、自転車の交通ルールや安全利用の指導を行っています。

平成28年は帯広警察署、帯広市交通安全推進委員連絡協議会（交連協）と連携し、中学・高校・大学・専門学校の市内25校を訪問して、自転車の交通マナーの啓発や、5月から11月の毎週第1と第3金曜日に、広報車で市内全域を回り、自転車の安全利用の啓発を実施してきました。

また、市民主体の交連協が発行する「交連協だより」に、自転車の交通ルール・マナーの特集記事を掲載して、全町内会に配布しました。今後も、交通ルールや安全利用について、関係機関・団体と連携しながら周知・啓発活動に努めます。

0808790

料金受取人払郵便

帯 局  
承 認  
1770

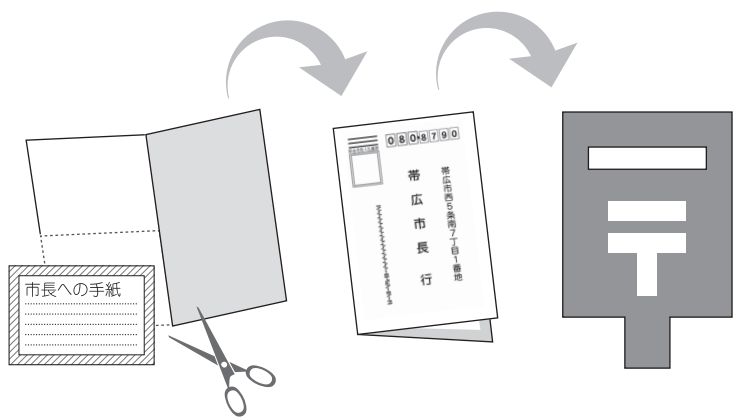
差出有効期限  
平成30年5月31日  
まで(切手不要)

帯 広 市 長 行

帯 広 市 西 5 条 南 7 丁 目 1 番 地

●手紙用紙を紙面から切り離してお使いください

- ①キリトリセンに沿って切り離し、手紙を書く
- ②二つ折りにし、のりしろ部分<sup>①</sup>を貼り合わせて投函



キリトリセン

山折り

キリトリセン